

イギリス文学と文化に親しむ

～より深く読みたい「シャーロック・ホームズ」～ 後期

関連する SDGs :



申込フォーム

スマートフォンからも
お申込みできます

期 間：2024 年 9/30 (月) ～12/16 (月) [全 10 回]

期 所：尚絅学院大学地域連携交流プラザ

〒981-1294 名取市せきのした 5-3-1

(イオンモール名取あおばコート 3 階)

時 間：10:30～12:00

対 象 者：探偵小説をより深く読んでみたい方にお勧め。時に英文も参照し、和訳本を講読します。

教 材：詳細な授業用資料を配布。『シャーロック・ホームズの思い出』延原謙訳、新潮文庫、781 円 (各自購入)

修了要件：80%以上出席の方に修了証を授与。毎回、講義に関する短いコメントをお願いしています。

定 員：20 名

最少催行人数：8 名

受 講 料：13,000 円

受講生へのメッセージ

コナン・ドイルの第 2 短編集『シャーロック・ホームズの思い出』(和訳) から 3 作品を取り上げます。講義内容を配布資料にし、時に視覚教材を利用し、読解します。作品を読む際には、小説形式の理解と時代の背景知識があると、もう一步深いホームズが味わえます。一緒に 100 年余り過去の英国を探ってみましょう。

事前に作品を読んでいただくと、講義内容の理解が、とても容易になります。

日程	テーマ・内容	講 師
第 1 回 9/30	ドイルの作家活動の略歴を解説します。探偵小説を確立した彼ですが、「ホームズ・シリーズ」に倦んでいました。そこでこの作品集で、ホームズを葬ってしましますが・・・。	小原 俊文
第 2 回 10/7	『シャーロック・ホームズの思い出』から「白銀号事件」を取り上げます。登場人物の性格を分析し、その人間関係を考えて行きます。さらにダートムアの地域性も関わってきます。	尚絅学院大学 名誉教授
第 3 回 10/21	「白銀号事件」の第 2 回目の講読です。この事件では、科学的捜査の役割が重要です。19 世紀は科学・技術の進歩があった時代で、ホームズの推理の冴えに注目しましょう。	
第 4 回 10/28	「白銀号事件」の第 3 回目の講読です。物語は競馬に関わるものですが、英国人の馬に対する愛着、ギャンブルとしての競馬への嗜好もこの作品の大きな文化的要素です。	
第 5 回 11/11	「グロリア・スコット号」を講読します。時代設定は、シリーズの中で最も早いホームズの学生時代です。彼は早くから観察と推理の才能を発揮します。人物設定と時代性に着目。	
第 6 回 11/18	「グロリア・スコット号」の第 2 回目の講読です。彼の観察力と推理に関しては、探偵小説らしい場面が展開します。人間の秘密を探るといふ探偵の側面をも考えてみましょう。	
第 7 回 11/25	「グロリア・スコット号」の第 3 回目の講読です。一般に探偵は過去と現在の因果関係を探ります。この作品では犯人の告白がそれを補完します。「告白」形式の採用を考えます。	
第 8 回 12/2	「マスグレーヴ家の儀式」を講読します。この家の執事の失踪に、代々伝わる儀式的問答の謎が絡んできます。ホームズは謎の解読により、事件の全面的な解決をもたらします。	
第 9 回 12/9	「マスグレーヴ家の儀式」の第 2 回目の講読です。この屋敷に伝わる謎の儀式書は、思いもよらぬ英国の歴史的事件に関わります。暗号の解読も探偵小説の大切な要素の一つです。	
第 10 回 12/16	「マスグレーヴ家の儀式」の第 3 回目の講読です。英国の 17 世紀の歴史的事件である清教徒革命と王政復古に関する知識をもとにすると、英国社会の特徴の理解が進むと思います。	

イギリス文学と文化に親しむ

～より深く読みたい「シャーロック・ホームズ」～

後期